

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率

月次指標の早期推計：12月レポート

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)
松林洋一 (APIR 上席研究員)
野村亮輔 (研究推進部)
古山健大 (調査役)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 1月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶ JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 2)、**12月の訪日外客総数(推計値)は 12,100 人**となった。11月30日から外国人の新規入国緩和を停止した影響もあり、前月(20,700人)から減少した。結果、**2021年通年では 245,896 人**となり、**1964年(352,832人)の統計開始以降で、過去最少**となった。なお、伸び率をみれば前年比-94.0%、19年比-99.2%となった。

▶ 訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、12月は中国が1,800人で最も多かった。次いでインドが1,200人、韓国が1,100人、米国が1,000人、台湾、インドネシア、ベトナムがそれぞれ300人であった。結果、2021通年では中国(42,300人)、ベトナム(26,500人)、米国(20,000人)、韓国(19,000人)、インド(8,800人)の順となった。

▶ **目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、10月は 22,113 人**となった(前々年同月比-99.1%)(図 2 及び表 3)。うち、**観光客は 2,287 人(同-99.9%)**、**商用客は 2,506 人(同-98.5%)**、**その他客は 17,320 人(同-89.0%)**であった。ワクチン接種を条件に入国期間が短縮されたこともあり、訪日外客数はすべてのカテゴリーで前月から増加した(前月：観光：1,124人、商用：1,676人、その他：14,920人)。

▶ 2022年1月に入り、**欧州の一部の国でオミクロン株による感染拡大を防ぐ水際対策が緩和されつつある**。英国やフランスでは、国内でオミクロン株が既にまん延し、水際対策の効果が薄まったことから、むしろ入国制限緩和の方針を決定した。なお、上記 2カ国では、オミクロン株対策としてブースター接種を前倒しで進めており、英国が53.9%、フランスが45.0%と、いずれも12月以降、急上昇している(図 3)。ワクチン接種済みであれば隔離期間を設けずに入国可能となるため、ワクチン接種の進捗が入国緩和にとって重要となろう(日本のブースター接種率：1.5%)。

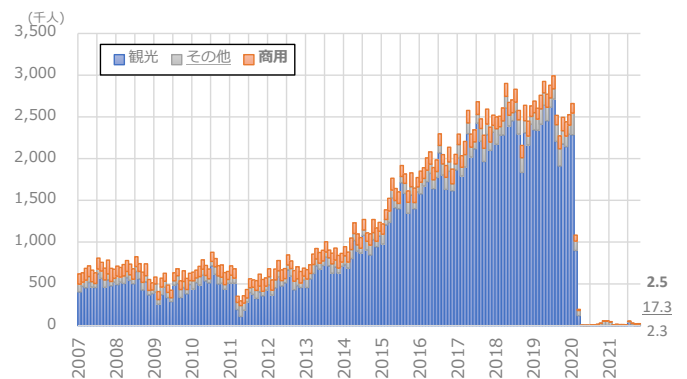
▶ 欧州を中心に入国緩和の動きが進む一方、**日本では引き続き厳格な水際対策が続く**。11月30日から政府は外国人の新規入国を一時停止していたが、1月11日に2月末までの延長を決定した。卒業や進級が迫る留学生などの新規入国について検討が進められているが、大幅な入国緩和は期待しづらく、当面訪日外客は低位での推移が見込まれよう。

図 1 訪日外客数推移



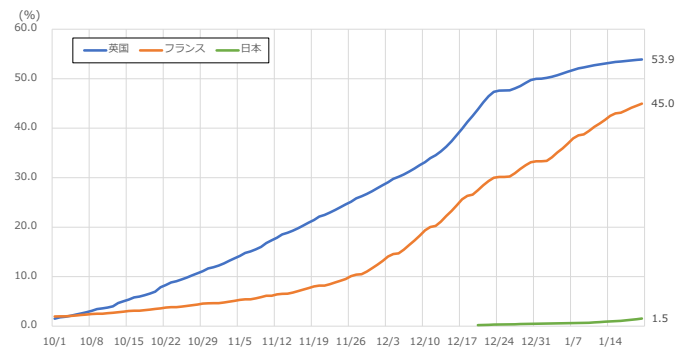
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 2020年まで確定値、21年1-10月は暫定値、
21年11-12月は推計値

図 2 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成
注) 「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

図 3 ワクチンの追加接種状況



出所:Our World In Data より作成(1月20日時点)

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の統計調査が現在行われていないため、2020年11月公表分レポートより内容を一部変更していることにご留意ください。

トピックス 1

● 12月関西の財貨・サービス貿易及び11月のサービス産業動向

▶ 関西 12月の輸出は前年同月比+18.5%と10カ月連続の増加だが、前月(同+22.9%)から減速(図4)。主にアジア向けの半導体等電子部品が輸出増に寄与した。輸入はエネルギー価格の高騰もあり同+32.3%と11カ月連続で増加した(前月:同+39.3%)。結果、関西の貿易収支は+2,878億円と23カ月連続の黒字だが、輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったため、黒字幅は同-22.8%と2カ月連続で大幅縮小した(前月:同-60.4%)。2021年通年では輸出は前年比+21.0%、輸入は同+17.8%といずれも3年ぶりに増加した結果、貿易収支は同+39.8%と2年連続で拡大した。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、関西12月の対中輸出は前年同月比+14.9%と19カ月連続の増加だが、前月(同+20.6%)から減速。また、対中輸入は同+23.5%と7カ月連続で増加し前月(同+19.4%)から加速した。2021年通年の対中輸出はプラスチックや半導体等製造装置の寄与もあり前年比+18.4%と2年連続の増加となった。また対中輸入は衣類及び同附属品や通信機の寄与もあり同+15.6%と3年ぶりに増加した。

▶ 12月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は2,737人と前月(3,678人)から減少した(前々年同月比-99.6%)(図6)。前述した外国人の新規入国停止の影響が表れているようである。2021年通年では41,119人(前年比-95.9%)と、1994年の開港以降(248,806人)、過去最低値となった。また、同月の日本人出国者数は4,247人(前々年同月比-98.8%)で前月(4,467人)から減少した。2021年通年では43,970人(前年比-92.7%)と、インバウンド需要と同様にアウトバウンド需要も消失している。

▶ 11月のサービス業はCOVID-19の感染状況が前月から一層落ちついていたこともあり指数は持ち直しがみられた。サービス業の生産活動を示す第3次産業活動指数(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば(図7)、11月は98.2で前月比+0.4%上昇し、3カ月連続のプラスとなった(前月:同+1.9%)。対面型サービス業指数*は87.5で同+4.1%上昇し、3カ月連続のプラス(前月:同+8.2%)。COVID-19新規陽性者数が低位で推移し、行動制限が一層緩和されたため、同指数は大幅に改善。うち、飲食店、飲食サービス業(同+8.2%)が3カ月連続で改善した。

▶ 観光関連指数**(2015年平均=100)は、80.1と前月比+6.7%上昇し、20年2月以来の水準(99.7)となった(図7)。各都道府県が行った独自の需要喚起策の開始もあり、宿泊業(同+14.7%、2カ月連続)や旅行業(同+45.3%、3カ月連続)が大きく改善した。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

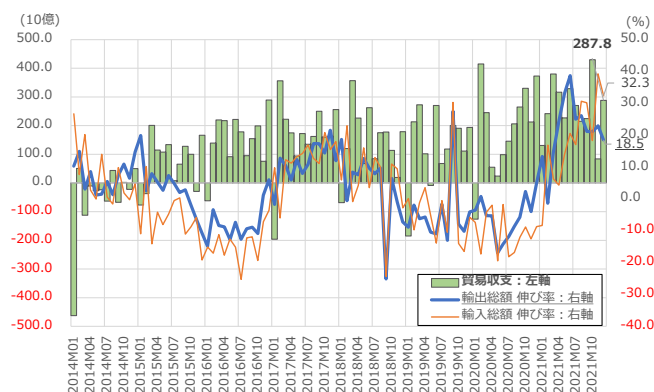
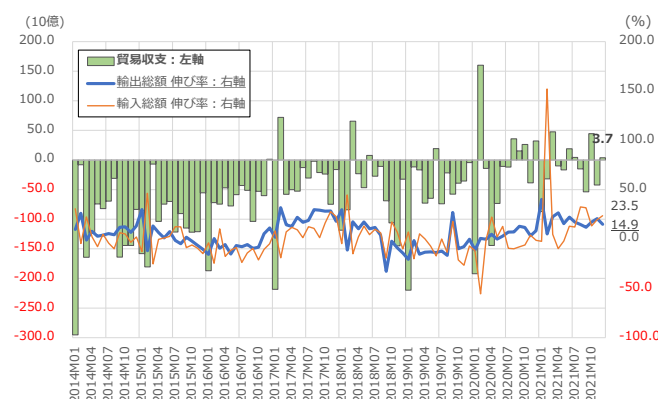
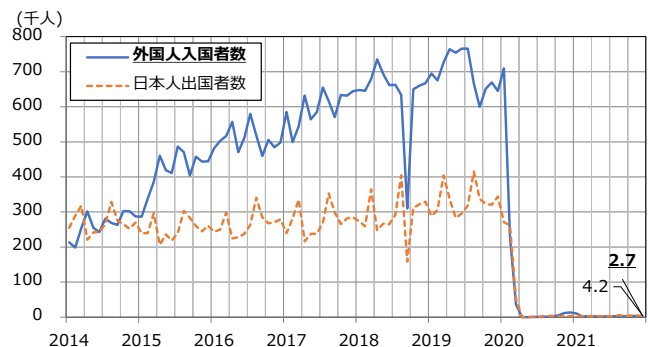


図5 関西 対中貿易の推移



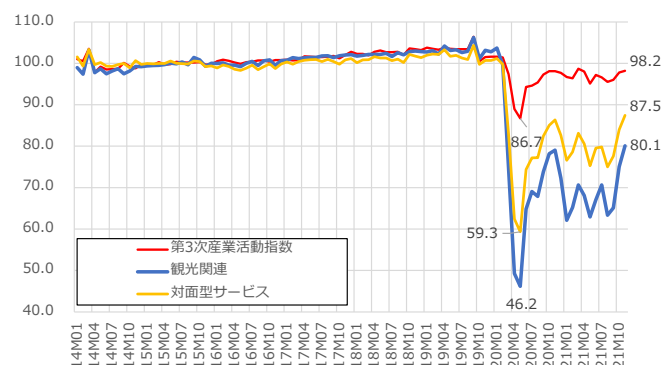
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2021年12月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

● 10月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、10月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は5,736.8千人泊であった。コロナ禍の影響がない前々年同月比は-44.7%と前月の減少幅(同-58.7%)から縮小した(表1)。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全国で解除されたことにより(2021年9月30日)、宿泊者数が大きく増加した。

▶日本人延べ宿泊者数は5,692.3千人泊であった。前々年同月比-22.7%と前月の減少幅(同-45.3%)から縮小した(表1及び図8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府が1,825.9千人泊、京都府が1,149.6千人泊、兵庫県が866.0千人泊、三重県が470.9千人泊、和歌山県が362.1千人泊、滋賀県が260.1千人泊、福井県が240.2千人泊、鳥取県が202.9千人泊、奈良県が160.3千人泊、徳島県が154.3千人泊であった。特に和歌山県では前々年同月比がプラスに転じた。

▶外国人延べ宿泊者数は、44.5千人泊と、前々年同月比-98.5%減少した(前月：同-98.4%)(表1及び図9)。

▶10月の関西2府8県延べ宿泊者を居住地別でみると(図10)、県内の延べ宿泊者数は1,472.1千人泊(前々年同月比+20.9%)、県外は4,053.3千人泊(同-52.6%)であった。延べ宿泊者に占めるそれぞれのシェアは、県内が25.7%、県外が70.7%となっている。なお、県内の伸びは前月(同-9.9%)からプラスに転じ、県外の減少幅は前月(同-65.0%)から縮小したことに注意。

▶11月の全国延べ宿泊者数(全体、1次速報ベース)は35,615千人泊であった。前々年同月比-28.3%と前月(31,567千人泊)の減少幅(同-36.9%)から縮小した。関西においても、府県民割の対象拡大や期間延長もあり、今後も宿泊者数の増勢が続くと思われる。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

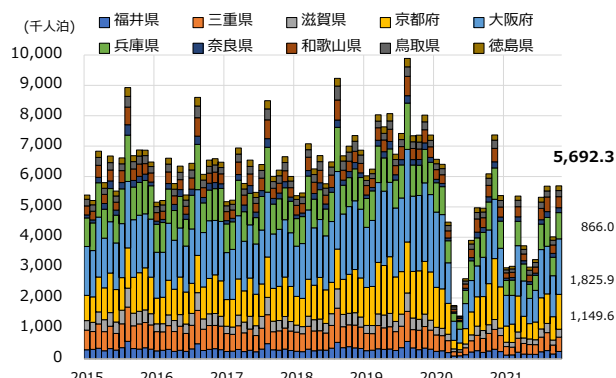


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

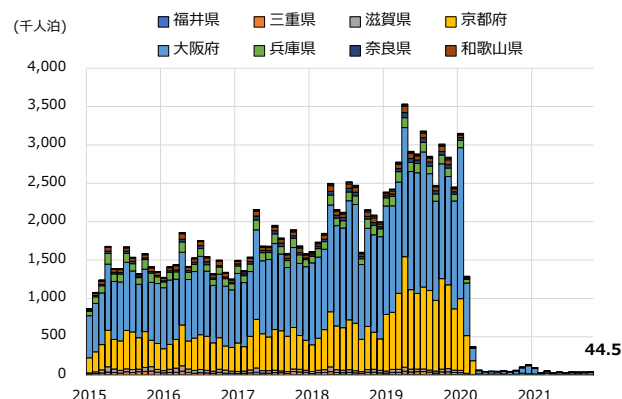
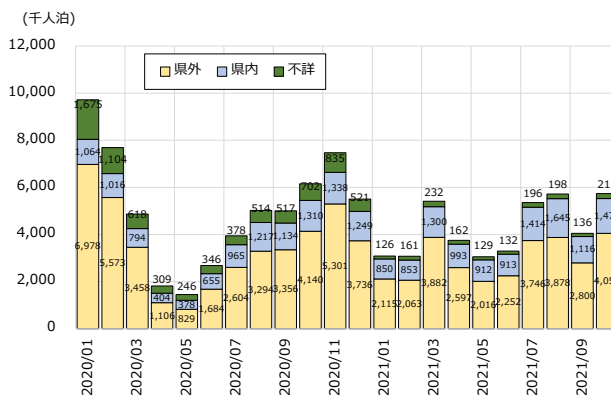


図10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移



注) 県外の宿泊者には外国人宿泊者も含まれる。

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率の推移

2021年10月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)	延べ宿泊者数: (千人泊)	伸び率: 20年比(%)	伸び率: 19年比(%)
福井県	241.3	-6.5	-21.8	240.2	-6.7	-20.1	1.1	53.4	-86.0
三重県	472.3	-18.2	-30.0	470.9	-18.2	-26.3	1.4	2.1	-96.0
滋賀県	260.7	-10.0	-33.7	260.1	-9.8	-27.5	0.5	-65.1	-98.5
京都府	1,158.3	-14.9	-58.3	1,149.6	-14.9	-28.1	8.7	-19.4	-99.3
大阪府	1,851.1	2.3	-53.4	1,825.9	3.3	-26.3	25.3	-39.2	-98.3
兵庫県	870.7	-5.9	-21.7	866.0	-6.0	-13.2	4.7	23.2	-95.9
奈良県	161.2	-5.3	-30.2	160.3	-5.6	-13.8	0.9	88.9	-98.1
和歌山県	363.2	-3.9	-13.1	362.1	-3.8	4.1	1.0	-38.6	-98.5
鳥取県	203.4	-13.9	-15.8	202.9	-13.8	-10.8	0.5	-33.3	-96.2
徳島県	154.7	5.6	-35.8	154.3	5.4	-32.1	0.4	215.4	-97.0
関西2府4県	4,665.1	-5.4	-47.6	4,624.1	-5.1	-22.5	41.0	-31.3	-98.6
関西2府8県	5,736.8	-6.7	-44.7	5,692.3	-6.5	-22.7	44.5	-29.1	-98.5
全国	31,567.2	-9.2	-36.9	31,268.4	-9.3	-21.4	298.8	-1.1	-97.1

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

表2 2021年12月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	12月	12月		1-12月	1-12月	
総数	2,526,387	12,100	-99.5	31,882,049	245,900	-99.2
総数(韓国・その他除く)	2,188,107	6,520	-99.7	25,083,459	160,840	-99.4
韓国	247,959	1,100	-99.6	5,584,597	19,000	-99.7
中国	710,234	1,800	-99.7	9,594,394	42,300	-99.6
台湾	348,269	300	-99.9	4,890,602	5,100	-99.9
香港	249,642	70	-100.0	2,290,792	1,250	-99.9
タイ	164,936	200	-99.9	1,318,977	2,700	-99.8
シンガポール	100,376	50	-100.0	492,252	860	-99.8
マレーシア	78,250	60	-99.9	501,592	1,800	-99.6
インドネシア	59,203	300	-99.5	412,779	5,300	-98.7
フィリピン	81,542	200	-99.8	613,114	5,500	-99.1
ベトナム	30,606	300	-99.0	495,051	26,500	-94.6
インド	11,739	1,200	-89.8	175,896	8,800	-95.0
豪州	72,653	100	-99.9	621,771	3,300	-99.5
米国	144,498	1,000	-99.3	1,723,861	20,000	-98.8
カナダ	35,132	100	-99.7	375,262	3,600	-99.0
メキシコ	6,499	40	-99.4	71,745	1,120	-98.4
英国	27,750	200	-99.3	424,279	7,300	-98.3
フランス	20,261	200	-99.0	336,333	7,000	-97.9
ドイツ	13,639	100	-99.3	236,544	5,200	-97.8
イタリア	11,196	70	-99.4	162,769	3,570	-97.8
ロシア	8,833	80	-99.1	120,043	3,760	-96.9
スペイン	7,295	60	-99.2	130,243	3,050	-97.7
中東地域	5,554	90	-98.4	95,160	2,830	-97.0
その他	90,321	4,480	-95.0	1,213,993	66,060	-94.6

表3 2021年10月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対2019年比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)	2019年	2021年	伸率(%)
	10月	10月		10月	10月		10月	10月		10月		
総数	2,496,568	22,113	-99.1	2,177,382	2,287	-99.9	162,020	2,506	-98.5	157,166	17,320	-89.0
韓国	197,281	1,921	-99.0	155,972	123	-99.9	23,643	224	-99.1	17,666	1,574	-91.1
中国	730,631	4,009	-99.5	645,903	143	-100.0	31,428	424	-98.7	53,300	3,442	-93.5
台湾	413,701	425	-99.9	395,168	52	-100.0	11,103	77	-99.3	7,430	296	-96.0
香港	180,562	144	-99.9	176,031	30	-100.0	3,356	38	-98.9	1,175	76	-93.5
タイ	145,333	195	-99.9	138,912	27	-100.0	3,710	14	-99.6	2,711	154	-94.3
シンガポール	41,937	66	-99.8	38,030	33	-99.9	3,395	11	-99.7	512	22	-95.7
マレーシア	48,864	237	-99.5	45,071	16	-100.0	2,763	23	-99.2	1,030	198	-80.8
インドネシア	34,094	454	-98.7	26,605	35	-99.9	3,137	7	-99.8	4,352	412	-90.5
フィリピン	64,690	867	-98.7	57,161	51	-99.9	2,915	6	-99.8	4,614	810	-82.4
ベトナム	46,510	995	-97.9	16,131	14	-99.9	4,033	26	-99.4	26,346	955	-96.4
インド	13,929	1,487	-89.3	6,068	28	-99.5	5,244	53	-99.0	2,617	1,406	-46.3
豪州	51,563	284	-99.4	46,906	92	-99.8	3,547	26	-99.3	1,110	166	-85.0
米国	153,363	2,035	-98.7	127,454	422	-99.7	20,501	191	-99.1	5,408	1,422	-73.7
カナダ	37,667	302	-99.2	34,305	87	-99.7	2,365	57	-97.6	997	158	-84.2
メキシコ	7,385	47	-99.4	6,702	18	-99.7	467	14	-97.0	216	15	-93.1
英国	68,401	360	-99.5	59,330	89	-99.8	6,788	82	-98.8	2,283	189	-91.7
フランス	39,457	423	-98.9	33,306	107	-99.7	4,367	74	-98.3	1,784	242	-86.4
ドイツ	26,276	352	-98.7	19,780	93	-99.5	5,264	110	-97.9	1,232	149	-87.9
イタリア	14,731	228	-98.5	11,088	50	-99.5	2,477	63	-97.5	1,166	115	-90.1
ロシア	14,348	346	-97.6	11,262	84	-99.3	2,299	47	-98.0	787	215	-72.7
スペイン	13,739	130	-99.1	11,720	26	-99.8	1,069	27	-97.5	950	77	-91.9
中東地域	11,955	194	-98.4	9,873	31	-99.7	1,244	37	-97.0	838	126	-85.0
その他	140,151	6,612	-100.0	104,604	636	-100.0	16,905	875	-99.9	18,642	5,101	-99.7

注) 目的別訪日外客数の定義については、図2 注参照。
出所: 日本政府観光局(JNTO)、2022年1月19日付より筆者加工